

曜日 27.2.10

27.2.10

稲田川 水質浄化へ

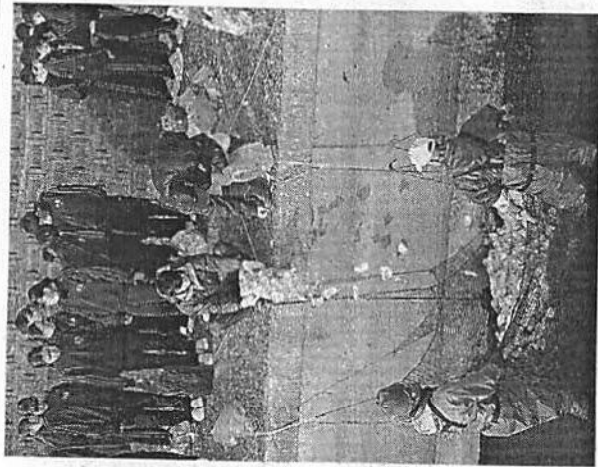
岡

東海中生ら岩ガキ殻投入 延

延

延岡市無鹿町を流れる稲田川の水質浄化を目指す「稲田川を蘇(よみがえらそう会)(吉田敏寿会長)は5日、同所で水質浄化活動を行った。会員である地元の東海中の生徒らが岩ガキの殻と竹炭を川に投入し、再生を願った。各家庭の生活排水が流れ込む稲田川は、水質悪化や悪臭が積年の問題となっている。

解決に向けて昨年、東海地区区長会同校同市土地改良区、NPO法人五ヶ瀬川流域ネットワークで同会が発足した。浄化活動には、同校生徒会の執行部や希望者ら1、2年生約50人を含む同会の会員約100人が参加。北浦産の岩ガキの殻と、地元の竹林などから切り出して制作した竹炭200kgを川に投入し



水質浄化を目指し、稲田川に岩ガキの殻などを投入する「稲田川を蘇らそう会」

た。同会によると、岩ガキの殻に付着した微生物が不純物を餌にすることや、竹炭の脱臭効果などから水質、悪臭の改善が期待されるといふ。

また、川の清掃も実施。自転車やペットボトルなど、軽トラック2台分の投棄物を拾い集めた。

同校2年の生徒会長、草野寛九郎君(14)は「いつも見ているが、稲田川はとても汚い。地域から愛される学校になるためにも、地元の人たちと協力しながらきれいにしていく」と意気込んでいた。